

ライブストリーミングを楽しむ(52)
—名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第 11 回定期演奏会—

1. 始めに

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第 11 回定期演奏会のライブストリーミングのアーカイブ配信が公開されましたので視聴しました。

<http://soundmedia.jp/20230811Live/>

<https://www.phileweb.com/news/audio/202308/21/24580.html>

2. ライブの試聴方法と使用機器環境

演奏者と演奏曲目と配信環境は次のとおりです。

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第 11 回定期演奏会

ライブストリーミング

2023 年 8 月 11 日、本学は、名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団第 11 回定期演奏会を三井住友海上しらかわホールで開催いたします。このコンサートは、音楽領域サウンドメディア・コンポジションコースで作曲・録音・音響を学ぶ学生が中心となり、本コンサートの模様を YouTube でライブ配信いたします。今回は、APL Virtuoso によるバイノーラル・ステレオと通常ステレオのライブ配信を実施します。また、コンサートの事後には、コルグが開発した業界史上最高音質のインターネット動画配信システム、Live Extreme を用いて、Dolby Atmos（ドルビーアトモス）(7.1.4) でアーカイブ配信します。これまで培ってきたオーケストラの録音制作技術とともに、録音を学ぶ学生が様々な機器を組織し、音楽的なライブ配信を目指します。ぜひご覧ください。

ニールセン／フルート協奏曲 FS.119

フルート：特別出演 石原 葵加（愛知県立明和高等学校音楽科 3 年）

グリーグ／ピアノ協奏曲 イ短調 op.16

ピアノ：川添 由梨香（名古屋芸術大学大学院音楽研究科 2 年）

シベリウス／交響曲第 2 番 ニ長調 op.43



日時

2023年8月11日(金) 11 August 2023 (Friday)

13:45 配信開始 / 14:00 開演 Broadcast open 13:45 / Start 14:00

会場

三井住友海上しらかわホール MS&AD Shirakawa Hall

指揮

高谷光信

配信方法

YouTube

アーカイブ配信協力

KORG Live Extreme

機材協力

ヒビノインターサウンド株式会社 (DPA Microphones)

技術協力

ドルビージャパン株式会社

バイノーラル技術協力

ハダースフィールド大学 APL-Applied Psychoacoustics Laboratory

ヒュンコック・リー教授

プロフィール

このコンサートは、バイノーラルによる立体音響と通常ステレオの2種類の音声ライブ配信を行います。三井住友海上しらかわホールでライブ演奏されるオーケストラのサウンドをもとに、英国ハダースフィールド大学 APL-Applied Psychoacoustics Laboratory が新たに開発したバイノーラル制作ツール APL Virtuoso を用いてレンダリングされたバイノーラル・ステレオと通常ステレオ音声のミックスを、ライブスイッチングした映像とともにライブ配信を行います。

サウンドコンセプト

今回のコンサートでは、管弦楽の迫力と豊かさを兼ね備えたサウンドをスピーカーやヘッドホンで表現したいと考えています。バイノーラルのコンセプトは「ホールの中央で聴いているような感覚」。ホールの中央で聴いている時、前からだけではなく後ろや左右そして、上からも音が聴こえてくると思います。今回は、3Dメインマイクシステムとスポットマイクを用いて、ホールの中央の雰囲気とともに、各楽器の明瞭さも感じられるサウンドを目指します。一方で通常ステレオのコンセプトは、「指揮台の位置で聴いているようなサウンド」。指揮台の上のメインマイクを中心とし、左右の広がる弦楽器、そして、弦楽器の向こう側にある木管、金管楽器の奥行きを表現したいと考えています。尚、バイノーラルの音声はヘッドホンやイヤホンを用いてお聴きいただくと、私たちが意図したサウンドを体験いただくことができます。

アーカイブ・ストリーミング

コンサートの事後、8月21日より3ヶ月間、コルグが開発した業界史上最高音質のインターネット動画配信システム、Live Extreme を用いて、Dolby Atmos（ドルビーアトモス）（7.1.4）でアーカイブ配信します。

ライブストリーミングチーム

プロデューサー 日比奏妙（音楽総合コース2年）

アシスタントプロデューサー 中村颯汰（音楽総合コース3年）

テクニカルディレクター 加藤夕稀（音楽総合コース2年）

テクニカルエンジニア 関谷百加 津村早苗（音楽総合コース2年）

ビデオディレクター

勝山裕子（本コース3年） 佐々木季（本コース1年）

久田涼也（音楽総合コース1年）

サウンドエンジニア

平野祥吾 深井龍心 前川美帆（本コース1年）

佐々木勇午（音楽総合コース1年）

カメラ

加藤愛 中野百香（本コース2年） 大林終貴 レッケデニス（音楽総合コース2年）

市川仁子 柿木美祐（本コース1年）

テクニカルアシスタント

大角琳（音楽総合コース3年） 内田千翔（本コース2年）



システム構成

LiveStreamingSystem

3. ライブの試聴結果

KORGのLive Extreamによる配信ということで、興味をもって上記の配信の通常ステレオ配信を選択して視聴しました。

演奏は、指揮は外部招聘であり、オーケストラは教員と学生の混成のようです。エンジニアリングは外部からの技術協力を得ながら、すべての作業を学生が務めているようです。

プログラムはいずれも北欧の曲で、ニールセンのフルート協奏曲は初めて聴くものですが、グリーグのピアノ協奏曲とシベリウスの交響曲第2番はおなじみのものです。

演奏技量は二の次として、若い演奏家が真摯に力を発揮している様子は好感がもてます。オーケストラの音は吊りマイクのように、解像度はそれほどよくありませんが、ソロ楽器の音は近接マイクでクリアーに取られています。

音のバランスは、学生ばかりのライブストリーミングチームによるものでどうかと思っていましたが、問題なく聴けます。

専門企業の助言を得ながらとは思いますが、若いスタッフが新しい技術に意欲的に取りくむ姿勢は心強い限りです。こういった過程で、日本の音楽配信のレベルが上がっていくことを期待したいところです。



4. まとめ

You Tube の配信ながら、Live Extream による配信であり、仮想アースと LAN iSilencer などの効果で、若手演奏家達のフレッシュな演奏を若いエンジニア達の作業で聴くことができました。

以上

